

# 市民の命と暮らし守ろうと多彩な質問を展開

9月定例議会での日本共産党議員団の一般質問



**平良木哲也議員**



**橋爪法一議員**



**上野公悦議員**

**コロナ対策で  
少人数学級を**  
平良木 コロナ感染を防止し、学びを保障するためには、少人数学級が必要ではないか。  
**教育長** 感染リスクを低減しながら学校運営を行っており、感染拡大防止のための恒常的な少人数学級が必要だとは考えていない。一方、きめ細やかな指導と教職員の多忙解消のための少人数学級につ

**農業発展のための方策は**  
橋爪 今後の上越市農業を発展させるためにどうする考えか。  
**市長** 農業政策は、「食料・農業・農村基本条例」に基づいて目指すべき将来像を明らかにした上で施策を展開している。急速に高齢化が進む中山間地域を抱え、担い手不足が不安視される当市では、国の基本計画の見直しを受けて「食料・農業・農村基本計画」の見直し作業に着手したところであり、策定に当たっては、小規模な農家であっても、意欲と誇りを一層高め、将来にわたって希望が持てる「道しるべ」

**母子世帯への支援拡充を**  
上野 コロナ禍において、ひとり親家庭、特に母子世帯に対する生活支援は大事だが、各種支援策の拡充を国に求めるとともに、市としてもさらなる独自支援を行う考えはないか。  
**市長** 子どもの臨時休業に伴う出勤日減少、会社の業績悪化での賞与減少、求人数減少による就職難など、コロナ禍で子育てと仕事を一人で担うひとり親は、大きな影響を受けていると認識している。現時点では、国への要望や市独自の追加支援を行う予定はないが、今後のコロ

**病院の機能強化を**  
平良木 コロナ感染拡大の中で、各病院の機能強化を求めるべきではないか。  
**市長** 県市長会として厚労省に今回の災害級の有事を教訓とした医療再編・統合等の見直しを」と求めている。市としても国の動向を注視し、必要に応じて国に要望等を行いたい。

**原発再稼働での合意白  
治体の範囲への考えは**  
橋爪 柏崎刈羽原発の再稼働をめぐり、同意を求める自治体の範囲について改めて市長の考えを聞きたい。  
**市長** 同意を求める自治体の範囲は、国が専門的な知見に基づき、評価基準等もあわせて示すべきと考えており、考えに変わりはない。

ナによる影響を注視し、状況に応じて必要な対策を検討する。  
**イノシシ対策の強化は**  
上野 イノシシによるほ場や農作物への被害に関し、どのような対策を行っているのか。  
**市長** 新たに予防的な電気柵への支援制度創設など、侵入防止の電気柵整備を強化した。また、くくり罠の増設など年間を通じた捕獲、「鳥獣被害対策実施隊」の組織を行った。地元集落との連携による住民意識の向上が、イノシシが出没しにくい環境整備につながるものと考えている。

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.676 2020年10月4日  
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

**上越保健所管内感染症患者発生状況**  
(9月26日現在)  
PCR検査実施件数 1,467件  
感染症患者数 14人(上越市内13人)  
陽性率 0.95%